

恵みでクリスチヤンになった私たちが、条件や環境、状況に左右されずに勝利して、証人として用いられるために、必要なことは何でしょうか。

1. イエス様がキリストなら

語られたイエス様がだれなのか、弟子たちはあいまいでした。ともにおられるイエス様がキリストだと分かるなら、条件、環境、状況の険しさは問題ではありません。語られた方がキリストであると逃しているので、自分の計算や考え、常識、経験、倫理、道徳などに縛られるのです。それは、自分の枠で判断して、自分が神になっていることです。すべてのスタートは、イエスがキリストである告白からです。

イエス様は

1) 創世記 3:15
人生をすべてだめにする悪魔の頭を踏み碎く女の子孫、まことの王です。
2) 出エジプト 3:18
私たちの罪を負って身代わりとなり、犠牲のいけにえとなられたまことの祭司です。

3) イザヤ 7:14
神様を離れ、地獄の運命の中で死んでいた私に神様に会えるまことの預言者となられた方です。

4) マタイ 16:16
旧約で預言されたキリストがこの世に来られたのがイエス様です。

5) ヨハネ 19:30
すべて完了されたので、過去、現在、未来、どんな問題もすべて終わりました。

6) ピリピ 1:9-11

実際にイエスがキリストであることを告白しましょう。すべてのものが膝をかがめ、イエスを主を告白して、父なる神がほめたたえられます。すべてを完了して、復活された御座の主、万軍の王、主の主です。今まで歴史がその方をあきらかにするために動かされて来て、これからも救いの目的を持って、キリストを中心歴史が作られていきます。その方が、私の信じるイエス・キリストになるように祈りましょう。みことばを自分の思いやレベルに合わせるのではなく、信仰を持って受けましょう。

2. イエス様が私と一緒になら

そのイエス様が私とともにおられるなら、もっと違ってきます。昔からの暗闇のやぐら、ネフィリムのレベルがそのまま残っていて実際に崩れていないのでしょうか。イエスがキリストならば、その方がともにおられるならばと問いましょう。

1) ヨハネ 14:16

イエス様がもう一人の助け主がいつもともにおられると言われました。

2) マタイ 28:20

どんなときも、すべて完了されたキリストがいつもともにおられます。

3) 1コリント 3:16

聖霊が宿る神の神殿にしてくださって、内におられます。

4) ガラテヤ 2:20

私たちの内で、いのちとして生きておられるので、だれも奪うことができません。

実際に、確実にともにおられるのです。ヨセフは、それを知っていたので、何も問題になりませんでした。

3. 主役チェンジ

1) 主の御言葉の前に-約束と命令

神様のみことばは、命令で言われていても、それをなされるのは、神様ご自身です。

2) 私の考え、計算、感情、願い…

神様のみことばを実行するのが自分だと思うと、弟子たちと同じ反応をするしかありません。みことばは、命令でも、実行されるのは語られた方です。

3) 成就の主役は神様御自身

みことばの前に、自分の計算、願い、感情、経験はいりません。語られた方が主役です。

4) アーメンの信仰(13、創世記 15:5-6、17:16-17、18:10-12)

私たちがすることは、すべてをおろして、アーメンするだけです。分かりました、あなたはキリストなので、あなたが成されるとアーメンすれば、イエス様がな

ります。信じるのか、信じないのかを試されるのです。

アブラハムは、みことばを受けたとき、主を信じて義と認められました。しかし、その後、アブラハムは100歳で子どもが生まれると聞いて、信じませんでした。サラも信じず、心の中で笑いました。みことばを聞くとき、そのような態度ではなく、実行の主役は神様であると、ただアーメンしましょう。そうすれば、神様は私の現場から5000まで主の働きを全うされます。それが成就されるのを見るのが答えであり、信仰生活です。

御言葉通りに神様の救いは不可能な私に届いたことを覚え、私を通して私の現場から5000種族にまで救いを与えられると言われた主ご自身がその約束を全うされることを信じ、アーメンしましょう！

講壇からの神様の約束と指示に対して、不信や言い訳、制限などしないで、言われた主がなさることを告白し(主役チェンジ)固く握って祈りましょう！

1部-ルカ 9:10-17 主役チェンジ

なるほど/「イエスがキリストで私と共におられるなら」と問うと、御言葉を言われたキリストを実行の主役と迎えて、私見を挟まずにアーメンの信仰に立つ。

ならば/使徒1:8を言われたキリストを実行の主役と迎えてアーメンしよう！講壇からの神様の約束と指示に、言われた方を実行の主役と迎えて、御言葉を固く握って祈ろう！

2部-マルコ 10:46-52 絶対信仰

なるほど/神様がキリストをこの世に送って、十字架と復活を通らせるしかない理由を知り認めれば、自分がどんな人間だろうが、周りから何を言われようが、すべてを失うことがあってもキリストを離れない絶対信仰に立つ。

ならば/Only絶対キリストを告白して、「イエスはキリスト！」の信仰告白を優先し、救いの確信と感謝の中で救いの祝福を味わう祈りを優先しよう！